

法被のまち ~ “いいだらしさ”と出会う舞台~

飯田には江戸時代から続く町組があり、それぞれに表徳・法被・神社を持っています。また、飯田には年間 40 以上の祭りがあり、各町には祭りを通して培われてきた豊かな歴史や文化、人のつながりがあります。それらはまちごとに特色があり、その一つひとつが “いいだらしさ” です。

この計画では “いいだらしさ” を飯田の最大の魅力として表出させます。法被の絵はその “いいだらしさ” が集まった飯田の姿を表しています。

来訪者はまちを散策し、たくさんの “いいだらしさ” に出会い、そしてりんご並木にたどり着きます。

飯田は “いいだらしさ” と出会う舞台となります。



■いいだの年間カレンダー

3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
入学祈願祭 入学児童奉仕祈願祭	大宮通り桜祭り 春季例大祭音楽祭	お練り祭り 神輿渡御 折年祭本祭 折年祭本祭	林檎 桃 桜 花桃	石焼花 芍薬 菫子 菫子 菫子 菫子	いいた祭り いいた祭り いいた祭り いいた祭り	秋季例大祭 秋季例大祭 秋季例大祭 秋季例大祭	いいた祭り いいた祭り いいた祭り いいた祭り	新嘗祭 新嘗祭 新嘗祭 新嘗祭	元始祭 元始祭 元始祭 元始祭	元始祭 元始祭 元始祭 元始祭	元始祭 元始祭 元始祭 元始祭

マスタープラン

- 歩行者道路 : プッチー以外の車両は通行禁止とする。
- 歩行者優先道路 : 車両制限する。中央通りはボンエルにする。
- 交通用道路 : 車両の主要動線とする。
- 並木道 : プッチー以外の車両は通行禁止とする。
- 大舞台広場 : 飯田の祭りや文化、駅前エリアの中心の場。
- 各町のまち舞台 : 各町の中心の場。
- 文化エリア : 自然と歴史とエコロジーのエリア。
- 交通エリア : バスや電車、リニアの交通拠点。
- 商業エリア : 大小の商店が南北に連なるエリア。
- 駐車場 : 各町に散らばる駐車場を横通りに集約する。

① 駅前からりんご並木への通りを賑わいのある歩行者空間とします

① 駅前からりんご並木への通りを賑わいのある歩行者空間とします

A. 歩行者がまちを自由に往来できる交通ルールを設定します

大火の際に大通りは防火帯として拡張され、車の主要動線となり、それによって町は分断されてしまっています。かつてのように人々が縦横無尽に町を往来し、活気づいた街を形成するために、中心市街地内には新しく交通ルールを設け、市街地へ行き来する車や高速バスは新しいルートを使用します。それに伴い街中に散らばる駐車場を横通りに再配置・集約します。

B. 歴史を繋ぐ縦通りをまちの賑わいの軸として設定します

縦通りを人々が行きかう主要動線として設定します。特に通り町は中心市街地の中心を通り、駅前大舞台広場からりんご並木や文化施設、飯田城跡地等の街の重要な拠点を結び、飯田の歴史を一気に縦断する場となります。

着眼点① 【いいだの歴史軸と縦町】

② “まち舞台”と“大舞台広場”を中心にまちの特色や魅力を創出します

C. 各町の特色を育む“まち舞台”をつくります

駐車場の空地を活用し、各町がそれぞれの特色を創出する場をつくります。その中心としてまち舞台を設けます。まち舞台は祭りで使う神輿や屋台、道具等を展示・保管する場、練習・稽古をする場、公演を行う場となります。まち舞台の施設や使い方は各町の特性に合わせてのものとし、海風壁の蔵を改修して展示会場にしたり、子供たちに伝統芸能を伝承する場にしたりします。

D. 各町の文化や祭りの拠点となる“大舞台広場”をつくります

通り町の始点に大舞台広場を設け、それを中心として駅周辺の整備を行います。大舞台広場は多種多様な祭りや文化の拠点であり、飯田の玄関口としての顔となります。大舞台には回廊が廻り、南北で一体的な広場を形成するとともに、そこから文化エリアや商業エリア、交通エリアなどに接続されます。

着眼点② 【駐車場と隠れた歴史遺産】

③ 多種多様な文化や自然をもつ飯田を世界にアピールします

E. 季節の祭りや植生や生活をまちに取り込みます

まつりやまち舞台、飯田の植生を活用して、色彩や音や香りで季節を感じる町づくりをします。飯田には年間を通じて祭りがあり、季節を彩る豊かな植生があります。あの太鼓のリズムが聞こえてきたら夏の季節、桜が咲いたら祭りの準備をするといったように、人々の暮らしと植生が呼吸しながら、まちの中に飯田の四季が生まれます。

「柿の葉の雀隠れに 菱を薙げ」
「阿彌陀寺の桜が咲いたら 祇園をせよ」
「紫苑が咲いたら 冬土産にかかれ」
「栗の花の盛りが 田植えの盛り」
「カッコウが鳴くともう 霜がこない」
「風越山に雲がわかると 天気が変わる」

F. “いいだ祭り”を提案します

りんごが赤く実った季節に “いいだ祭り” を開催することを提案します。いつもは別々に祭りをしている各町や神社、団体が通り町にそれぞれの神輿や屋台、花火を出すことで、“いいだ”の歴史や文化、人々が歴史を繋ぐ大通りで一つに集結します。風越山を背景に大舞台では各種の踊りが演じられ、そこからりんご並木、飯田城へと続く大通りにはそれぞれの祭りの道具がずらりと並びます。そこに、多種多様な文化をもつ飯田のドラマティックな姿が表出します。

着眼点③ 【飯田に伝わる自然歴】

事業計画

まちづくりカンパニーが中心となって事業を進めます。〈準備期〉には行政や土地所有者と協議して、道路の計画・整備や土地の整理を行います。準備期は街を活性化させるための街の土壌を形成する期間になります。〈成熟期〉には各町の住民とつくる人と計画を練り、実行していきます。まちづくりカンパニーは街全体でのデザインや植生のバランスを管理します。街の魅力を高めつつ、土地の価値を向上させます。〈展開期〉には空き地やテナントに新規入居者や事業者を誘致します。町の特徴を活用しながら新しい人や文化を取り入れ、町の魅力や経済をさらに活性化させ世界に飯田を発信していきます。

■組織図

```

graph TD
    A[土地所有者  
・ 駐車場  
・ 駐車場移転先  
・ 空家] -- 協議 --> B[行政  
・ 飯田市  
・ 連携]
    A -- 協議 --> C[つくる人  
・ デザイナー  
・ 設計者  
・ 施工者]
    B -- 協議 --> D[事業者  
・ 現地住民  
・ 企業  
・ 移住者]
    C -- 協議 --> D
    D -- 計画 --> E[まちづくりカンパニー]
    E -- 計画 --> F[まち]
    F -- 計画 --> G[まちの整備]
    G -- 計画 --> H[まち]
    H -- 計画 --> I[まち]
    
```

■事業スケジュール

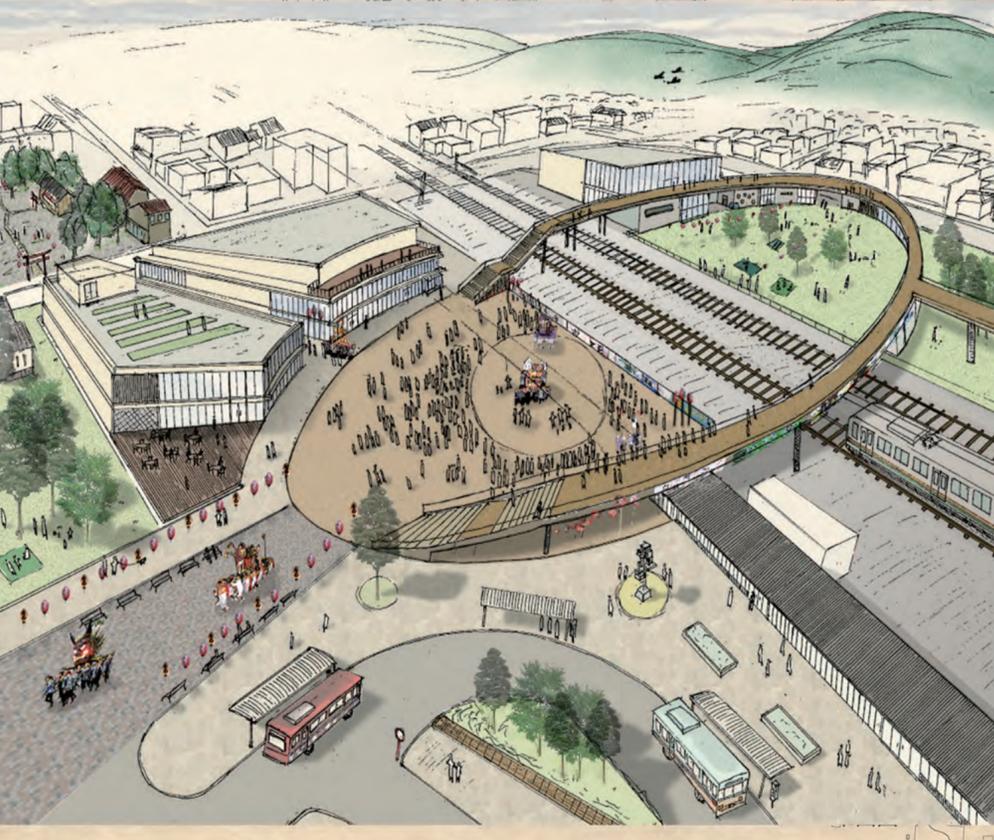
事業開始	2016	2020	2027	小さな世界都市へ
〈準備期〉	〈成熟期〉	リニア開通	〈展開期〉	
土地の有効活用 → 空き家や駐車場の再配置・集約化 → 交通整備 → 交通ルール → 道路整備	駅前の面的整備 → 都市的な機能の充実 → 町の魅力の創出 → まち舞台を中心として市街地の魅力を高める	リニア開通を機に新規者を誘致 → 入居者(都市圏への通勤、個人の趣味趣向) → 事業者(人形や伝統工芸品を活かした会社・店舗・工房)	まちの整備 ・ 都市整備 ・ 土地利用 ・ 交通整備	土地の活用 ・ 空地利用 ・ 立体駐車場 ・ 空家利用



都市機能推進区域の計画

—各町の文化や祭りの拠点となる“大舞台広場”

リニア駅周辺を先導都市、飯田駅周辺を伝統都市として位置付けます。
リニア駅周辺には、都心直結の場所として流行ブランドを取り入れた商業施設や娯楽施設、都心を拠点とする企業のオフィス、高層集合住宅、宿泊施設などの先進的なものや情報が集まります。
一方で、飯田駅周辺は“大舞台広場”を中心に、「文化エリア」「交通エリア」「商業エリア」を配置して、伝統を重んじた地域密着型のまちづくりを行います。



知久町通り

知久町通り=エコツーリズムの拠点
別名大平街道。西へ向かったところにある高層には、江戸時代の民家が残る大平宿があり、エコツーリズムの名所となっている。
「大平宿を残す会」を中心に、知久町通りをエコツーリズムに関連する案内所や研修施設、道具売り場などが立ち並び通ります。



文化エリア

文化エリアは伝承館や神社を中心に形成し、それらを潜り抜けてエコツーリズムの拠点である知久町通りにアクセスする。飯田の自然や文化、歴史をアーカイブするとともにそれらを体験・体感できる場所となる。



飯田市民ホール

飯田市民ホール
屋内で講演会や公演会、地域行事を行う施設。
屋外広場の企画・運営・管理も行う。



大舞台広場

大舞台広場
市街地の中心軸である通り町通りの起点に大舞台広場を設ける。大舞台では風越山を背景に各種のイベントが行われ、多種多様な祭りや文化の拠点となる。
大舞台広場の回廊は南北で一体的な広場を形成するとともに、中心市街地や各エリアに接続し、飯田市または中心市街地への玄関口としての役割を合わせもつ。



商業エリア

商業エリア
南に生活必需品が揃うデパート、北に地域特産品を配置し、商業のエリアを南北に形成する。
南北にスケールや目的の異なる商店を配置することで、人の往来を誘発し、南北の回遊性を高める。



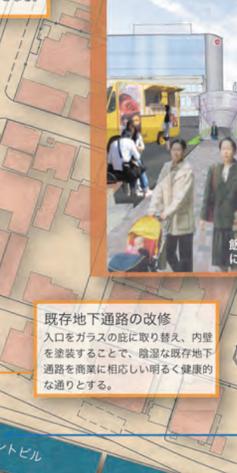
飯田特産品市場

飯田特産品市場
飯田市周辺各地より集まった特産品が並んだ小さな市場を既存公園沿いに計画する。公園は露店を出す場所や小さな収穫祭を行う場所となる。



テナントビル

テナントビル
不動産会社、旅行代理店などの拠点となるテナントビル。交通会社と協力しながら、貸しオフィス・別荘の運営、又は観光の企画などを行う。



鉄道・バスの連携運営

鉄道・バスの連携運営
リニア開通を見据え、バス会社と鉄道会社は連携して運営を行う。リニア、鉄道、バスの運行状況を一括で管理することで交通の利便性を向上させる。



景観形成区域の計画

—各町の色を育む“まち舞台”

各町はそれぞれに特色を保有しています。特色とは、「祭り」をはじめ「習慣」「地形」「既存建物」など様々です。これらの特色を、発見的にとらえてデザインすることで明確化します。来訪者は通り町を軸として各まち舞台を散策することで、各町の特色に出会えます。一方で居住者は自らの町に誇りを持ち、自発的に町を育てます。この計画を発端として、町は自ら成長を続け、かつての活気を取り戻していきます。



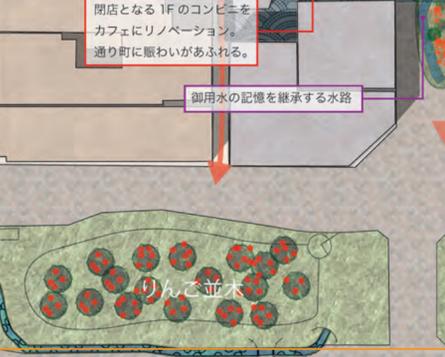
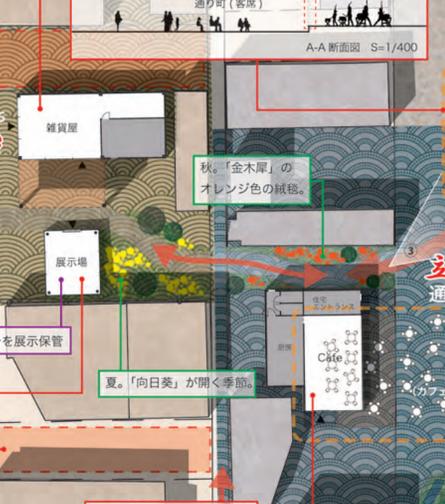
屋内稽古場

屋内稽古場
町の祭りの演技の練習などを行う場所。通り側の引き戸を開放することで、稽古場がステージ、通りが客席となり、町が一体となった賑わいの場となる。



まちの段差を活かす

まちの段差を活かす
町の段差は観客席や休憩ベンチとして活かし、立体的に変化のある景観を形成する。



八千代舞台

八千代舞台
法被の模様である「古原繫ぎ」を取り入れたインターロッキング



分銅舞台

分銅舞台
法被の模様である「分銅」を图案化したインターロッキング



立浪舞台

立浪舞台
法被の模様である「浪飛沫」を图案化したインターロッキング



相生舞台

相生舞台
法被の模様である「原繫ぎ」を取り入れたインターロッキング

